

「現代の国語」シラバス

学科	商業科	学年	1年	類型		組	5組	単位数	2
使用教科書	新編現代の国語（東京書籍）								
副教材等	大学入試に出た核心漢字 2500+語彙 1000（尚文出版）								

1 学習の到達目標

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるようにする。 ③ 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |
|---|

2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりごとに、下記の評価項目により評価をする。学年末において、観点別評価を5段階の評定に総括する。

知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けているか。	(1)(2)(3)(4) (5)(6)(7)
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができているか。	(1)(2)(3)(4) (5)(6)(7)
主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値観への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けているか。	(1)(2)(3)(4)
評価方法	主な評価項目	
学習状況の観察	発問に対する回答内容(1)、グループワーク等での対話への取組(2)	
課題の提出	ワークシート(3)、プリント等の提出内容(4)	
ノート・訂正ノート提出	定期考査ごとの提出(5)	
ペーパーテスト	定期考査(6)、小テスト(7)	

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目
一 学 期	己を見つめる こそめスープ 気になるニュースについて話そう 他者に出会う 水の東西 集めた情報の内容を検討して意見文を書こう 言葉と生活 1 異なる種類の文章を読み比べよう	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界を理解する。 ・情報の収集や整理を行い、内容や構成に注意して話す。 ・「水」を巡る日本と西洋の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。 ・積極的に様々な課題に興味や関心を持ち、情報を集めて検討を重ね、構成を工夫して意見文を書く。 ・異なる種類の文章を、書き手の意図を解釈しながら読み比べ、自分の考えを深める。 	(3)(4) (2)(3)(4) (3)(4) (3)(4) (3)(4)
二 学 期	視野を広げる スキマが育む都市の緑と生命のつながり 無彩の色 情報を整理しながら話し合おう 社会と関わる 鍋洗いの日々 森で染める人 憧れの職業について調べ、整理してまとめよう	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な植物を観察してきた成果を述べる文章を読み、提示された新しい視点について理解する。 ・色について論じた文章を、具体例の役割を抑えながら読み、筆者の価値観と主張をつかむ。 ・論点を共有しながら話し合いの仕方を工夫し、考えを深める。 ・自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る。 ・自然や社会の中で生きる意味を考えながら働く筆者の思いに触れ、働くということについて考える。 ・興味、関心のある対象について調べ、内容を整理して、考えたことを分かりやすくまとめる。 	(3)(4) (3)(4) (2)(3)(4) (3)(4) (3)(4) (3)(4)
三 学 期	世界とつながる 美しさの発見 未来に目を向ける 真の自立とは 資料を活用して発表しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・「美」という抽象的な題材について論じた文章を読み、展開を論理的に捉え、筆者の価値観を理解する。 ・「自立」の在り方について考察する文章を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。 ・様々な発表の形式を参考にして、発表の仕方や話の聞き方を工夫する。 	(3)(4) (3)(4) (2)(3)(4)

備考